

イベントカレンダー

8月	10日	夏の昆虫観察会
	16土	★万博公園にマイ葉箱をかけよう(3) (申込終了)
	16土	木や竹、木の実を使った工作
	23土	野鳥観察会-夏の鳥をみよう
	23土	木や竹、木の実を使った工作
9月	23土	★夏の星座観望会
	12金	季節の植物観察ガイド(4)
	13土	木や竹、木の実を使った工作
	14日	バッタの観察会
	20土	木や竹、木の実を使った工作
9月	21日	★秋のきのこの観察会
	28日	秋の野草の観察会


水曜休館。開館時間は午前10時～午後4時まで。○行事の詳細、参加の方法などは自然観察学習館まで
 臨時休館：8月1,2,8,9,29,30日

★印は要事前申込です。

万博公園でセミのぬげがら調査

園内でみつけたセミのぬげがらを自然観察学習館に持ってきてね。30個以上集めたらプレゼントがもらえるよ！ 8/31(日)まで

めがせ森の博士!! 春・夏版は8/24まで 9/1から秋版にかわるよ! 万博チャレンジラリー(春・夏版)実施中



わしは森の博士。参加費は無料じゃよ。クイズを解きながら歩いて頭と体の運動もいいもんじゃない。

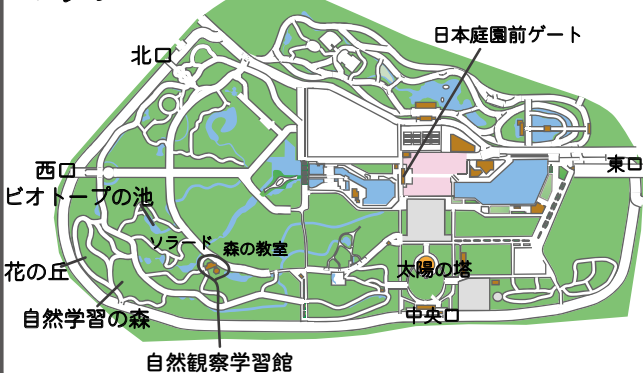
問題用紙は自然観察学習館、各ゲートで配布しているよ。答え合わせは自然観察学習館まで。

○学校などの団体対象の理科、生活科、総合学習などの教育活動支援も行っております。

館内展示

夏の自然展	7/3(木)～9/1(月)	園内で見られる夏の草木、昆虫などを紹介
自立した森再生への取り組み	開催中～9/30(火)	「自立した森」再生の取り組みについて展示

アクセスマップ



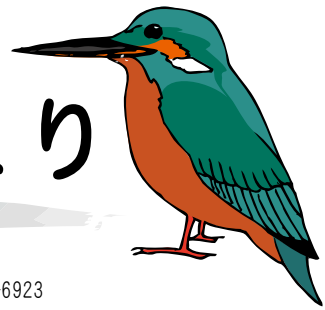
～編集後記～
 樹木の多い万博では毎年「茶色系のセミ」が多く見られます。今年は果たして!?!というわけで、今年もぬげがら調査、ご協力お願いします。

カワセミだより Web版
 万博公園TOP > 自然観察学習館 > 広報誌「カワセミだより」
<http://www.expo70.or.jp/cause/nature/observation/#caption4>

2014.08.01

8月号
NO.101

カワセミだより



〈発行〉自然観察学習館 大阪府吹田市千里万博公園1-1 TEL:06-6877-6923

カワセミだよりでは、園内で出会える植物・昆虫・鳥などの自然のミニ知識を紹介しています。

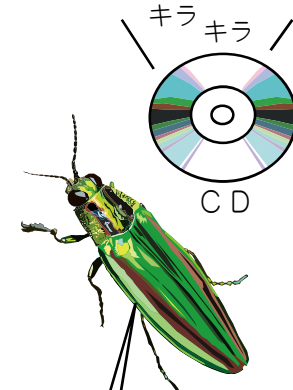
昆虫 その輝きはまるで宝石!?

ヤマトタマムシ(タマムシ科)

キラキラの翅がトレードマークのヤマトタマムシ。園内にも住んでいるけれど、見つけるのは難しいかも。今回は、この魅惑の昆虫の謎について紹介するよ!!

キラキラはCDと同じ

ヤマトタマムシのキラキラの秘密は「翅の構造」にあります。キラキラ輝くCDと同様に、この昆虫の翅には微細な凹凸があり、そこに光が当たることでキラキラと輝きます。



わざと派手に!?

派手で目立つ色をしているこの昆虫は、わざわざ昼間の、鳥などの敵に見つかりやすそうな時間帯に活動します。一見無謀にも感じるのですが、「キラキラを鳥が嫌う」という説もあり、意味なく派手な色をしているわけではないようです。

この虫、キラキラで眩しいから苦手・・・

ヤマトタマムシ

- ・大きさ：25～40ミリ
- ・成虫はエノキやサクラの葉を食べる。
- ・幼虫のエサは朽ち木。
- ・園内では上津道周辺で見つかったことがある。

植

物

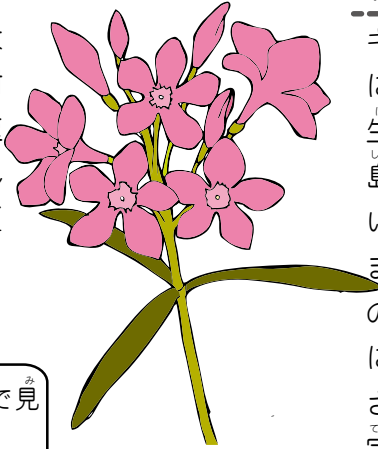
はなことば けいご ぶつご たいてき けいご じん

花言葉は『油断大敵』『用心』 キョウチクトウ

キョウチクトウはキョウチクトウ科の常緑広葉低木です。インド原産で、暑さに強く丈夫という優れた一面を持ちますが、注意が必要な植物でもあります。その理由とは…？

丈夫で開花期が長い

キョウチクトウは乾燥や大気汚染に強いので、街路樹として植えられたり、高速道路沿いにもよく植えられます。開花期が6～9月で夏の花が少ない時期に、咲き続ける貴重な植物です。



注意が必要

この植物の全体が有毒で、食べると頭痛や、めまい、けいれん等を起こします。また、枝や葉の切断面から生じる汁液が目に入ると刺激作用で涙が止まらなくなります。キョウチクトウを切るときはゴーグルやメガネを着用して目を守りましょう。



有毒成分を含んでいるため害虫がつきにくく、育てやすいよ。

身を守るために毒を持っているんだ。



希望と力を与えた花

キョウチクトウは戦争により、75年間草木も生えないといわれた広島島の焦土にいち早く咲いた花だといわれています。当時復興に懸命の努力をしていた市民に希望と力を与えたとされ、広島市の花に制定されています。

植

物

ハイビスカス、オクラの仲間

ムクゲ

ムクゲはアオイ科の落葉広葉低木です。韓国の国花ですが、原産は中国で、日本には平安時代以前に渡来しました。園内では、日本庭園、茶摘みの里、夏の花八景で見られます。

一日花？

ムクゲの花は朝開いて夕方方にはしおれてしまう一日花だといわれてきましたが、実は数日間は咲いているようです。



庭木にも

夏の間、ムクゲは次々に新しい花を咲かせます。また、根が横に広がらないため、比較的狭い場所に植えることができ、刈り込みにもよく耐えるので庭木としても植栽されます。

花は数日でしぼんでしまうけれど、どんどん新しい花を咲かせるよ。



ぼくの庭にも植えたら夏の間、花が楽しめていいだろうな。



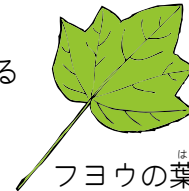
フヨウとの違い

同じアオイ科のフヨウもムクゲと同じ時期に花が咲き、花の形がよく似ていますが、葉の形や大きさの違いで見分けることができます。



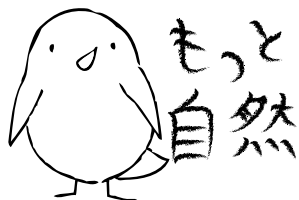
ムクゲの葉

- ・卵型
- ・大半が浅く3つに裂ける
- ・長さ4～10センチ
- ・幅3～5センチ



フヨウの葉

- ・てのひら型
- ・浅く3～7つに裂ける
- ・長さ10～20センチ
- ・幅10～20センチ



もっと自然

このコーナーでは自然を楽しむための色々な工夫や方法をお伝えしています。

カナブンのオスとメスの見分け方

夏の雑木林でよく見かける昆虫、カナブン。樹液が大好きで、園内でも「自然学習の森」などでよく見かけます。カナブンはカブトムシに近い仲間の昆虫ですが、ツノはありません。では、どうやってオスとメスを見分ければよいのでしょうか？じつはカナブンは、オスとメスで「前脚の形」が違うのです。右の絵のように、オスは前脚の「脛節」という部分が細く、メスは太くて形状も複雑です。園内で出会ったら、ぜひ前脚に注目して観察してみてくださいね。

